

令和6年度 墨田区立柳島小学校 学校経営計画・経営報告書（自己評価・学校関係者評価）

作成者 校長 近藤 幸弘

学校教育目標	◎よく考えずんでする子（重点目標）◎責任をもってやりぬく子 ○なかよく力をあわせる子 ○心が豊かでじょうぶな子
目指す学校像	笑顔で登校し、満ち足りた気持ちで家路つく学校（子供・教職員・保護者・地域）
目指す児童像	①自ら学び、自ら考え、主体的に判断・行動し、よりよく問題を解決する子供 ②困難なことから逃げない強さをもち、目標に向かって努力する子供 ③互いの人格を尊重し、ともに伸びゆくことを目指して、助け合い支え合う子供 ④心身ともに健康で、思いやりがあり、人の気持ちが分かる子供
目指す教師像	・一人一人のよさを伸ばし、子供が主体的・対話的に学び合うことを指導できる教師 ・子どもを愛し、子どもの思いを受け止め、良いこと、悪いことを教える教師 ・学校・保護者・地域が連携したよりよい学習の場をマネジメントできる教師

○令和6年度 学校経営計画における重点内容
<ul style="list-style-type: none"> <li>・コロナウィルス制限解除に伴う授業及び学校行事の実施方法の工夫</li> <li>・基礎学力の定着及び主体的な学び、探究学習を推進する教育活動</li> <li>・きちんとしたあいさつ、自分や友だちを大切にできる心、相手を思いやる心情の育成</li> <li>・読書活動（読み聞かせ等）における保護者・地域等を巻き込んだ活動の定着</li> <li>・タブレット端末の活用した授業及び家庭学習の工夫</li> <li>・算数科の技能及び習熟度における指導法を工夫を開発する中での指導力の向上</li> </ul>

項目	取組目標	具体的方策	取組指標		成果指標		分析	改善方策	学校関係者評価		
				評価		評価			自己評価	改善方策	意見等
各教科指導等	確かな学力を育てるための、分かりやすい授業を実施する。	基礎学力の向上のため、区学力調査の結果を踏まえ、ベーシックドリル及び振り返りシート等を活用する。	4	振り返り等の実施状況 100%の実施	4	学習の取組 保護者・児童の評価 90%以上の評価	算数科の授業改善を通して、児童の基礎的な学習内容の定着を図った。	引き続き、授業改善に努める。	A	A	学力向上についての計画を聞き、熱心に取り組んでいることがわかった。
			3	80%～99%の実施	3	70%～89%の評価					
			2	60%～79%の実施	2	50%～69%の評価					
			1	60%未満の実施	1	49%以下の評価					
	確かな学力を育てるための、分かりやすい授業を実施する。	探究、問題解決学習及びGIGA構想を進めるため、ICTを効果的に活用する。	4	ICTの授業時間の活用 90%以上の実施	4	学力向上 教職員評価 90%以上の評価	全教室に電子黒板が配備され、ICTの活用を推進することができた。	効果的にICTを活用できるよう授業改善に努めていく。	A	A	これからも期待している。
			3	80%～89%の実施	3	70%～89%の評価					
			2	60%～79%の実施	2	50%～69%の評価					
			1	60%未満の実施	1	49%以下の評価					
	社会的自立に向けた進路指導・キャリア教育・相談活動等に取り組む。	地域の幼・保育園及び小・中学校との連携強化を行う。	4	幼保小中の連携回数 7回以上の実施	4	幼保小中連携 担当の評価 90%以上の評価	小中連携の一環として、6年生が中学校での授業体験を行い進学後のイメージを持たせることができた。	幼保小中連携を意識し、意図的に教育活動を行っていく。	A	A	特になし
			3	5回～6回の実施	3	70%～89%の評価					
			2	3回～4回の実施	2	50%～69%の評価					
			1	2回以下の実施	1	49%以下の評価					
	社会的自立に向けた進路指導・キャリア教育・相談活動等に取り組む。	保護者・地域及び関係機関等の連携強化を行う。	4	地域・関係機関の連携回数 4回以上の実施	4	保護者・学校運営協議会評価 90%以上の評価	キャリアパスポートを活用して保護者との情報共有に努めた。	節目節目の振り返りを今後も大切にする。	A	A	特になし
			3	3回～4回の実施	3	70%～89%の評価					
			2	2回の実施	2	51%～69%の評価					
			1	1回の実施	1	49%以下の評価					
	教員の指導力・授業力の向上のための、組織的な取組等を行う	指導力及び授業力の向上のため算数科等の研究を中心に授業力を磨く。	4	校内研究・研修の回数 10回以上の実施	4	学力向上 教職員評価 90%以上の評価	年間を通し算数科の授業改善に学校全体で取り組んだ。外部講師より指導をうけ授業力向上につなげた。	今後も授業力向上に取り組む。	A	A	今後の取組に期待する。
			3	7回～9回の実施	3	70%～89%の評価					
			2	4回～6回の実施	2	50%～69%の評価					
			1	3回以下の実施	1	49%以下の評価					
教員の指導力・授業力の向上のための、組織的な取組等を行う	研修により個人及び組織の指導力や体制強化を図る。	4	校内研修会の回数 10回以上の実施	4	校内研修の教職員評価 90%以上の評価	教師道場や区小研などを活用し個人の授業力を上げる取組を各自が行った。	研修履歴を活用しながら個人の指導力・授業力向上につとめる。	A	A	ICTの活用により文章を書く機会が減っていることが心配である。	
		3	7回～9回の実施	3	70%～89%の評価						
		2	4回～6回の実施	2	51%～69%の評価						
		1	4回以下の実施	1	49%以下の評価						

項目	取組目標	具体的方策	取組指標		成果指標	分析	改善方策	学校関係者評価						
				評価					評価	自己評価	改善方策	意見等		
生活指導等	基本的な生活・社会習慣、人間関係づくりのための心の教育等に取り組む。	柳島小学校「学校生活のきまり」を遵守し、学校生活習慣を確立する。	4	情報共有会議の実施状況 100%の実施	4	4	学校のきまりの児童評価 90%以上の評価	3	学校生活の決まりについて全教職員で共通理解する場面を複数回設定し、統一歩調で生活指導を行った。	指導の成果を児童の姿で現せるよう取組を続ける。	A	A	いじめに対する未然防止の取組、道徳教育の充実に積極的に取り組んでいる。	
			3	80%～99%の実施		3	70%～89%の評価							
			2	60%～79%の実施		2	51%～69%の評価							
			1	60%未満の実施		1	49%以下の評価							
	基本的な生活・社会習慣、人間関係づくりのための心の教育等に取り組む。	家庭と協力し教育相談及びSC等を活用し、人間関係づくりの充実に努める。	校内委員会及び全員面接取組状況	4	100%の実施	4	4	学校生活の保護者評価 90%以上の評価	4	家庭との連携を密にし、必要に応じて外部機関の連携を行い、児童の健やかな成長につなげた。	今後も、児童観察を丁寧に行い、児童にとってよりよい対応ができるよう心がけていく。	A	A	今後も取組目標に対し、高い評価“A”であり続けることを期待する。
				3	80%～99%の実施		3	70%～89%の評価						
				2	60%～79%の実施		2	51%～69%の評価						
				1	60%未満の実施		1	49%以下の評価						
	危機回避能力の育成や子供の安全を確保するための取組等を行う。	避難訓練及びセーフティ教室を実施する。	避難訓練及びセーフティ教室の実施状況	4	100%の実施	4	4	危機管理の全体評価 90%以上の評価	3	避難訓練やセーフティ教室を確実に実施し、児童が自分の生命を自分で守るための資質能力の育成に努めた。	今後も、実際に起こりうる災害を想定した訓練を実施していく。	A	A	特になし
				3	80%～99%の実施		3	70%～89%の評価						
				2	60%～79%の実施		2	51%～69%の評価						
				1	60%未満の実施		1	49%以下の評価						
危機回避能力の育成や子供の安全を確保するための取組等を行う。	地域・関係機関との連携により安全確保に努める。	必要に応じた関係機関との実施状況	4	100%の実施	3	4	危機管理の学校運営協議会評価 90%以上の評価	4	地域の関係機関の協力のもと教職員対象の救急救命訓練を通し、児童の安全の確保に努めた。	今後も、実際に起こりうる危機を想定した訓練を実施していく。	A	A	特になし	
			3	90%～99%の実施		3	70%～89%の評価							
			2	80%～89%の実施		2	51%～69%の評価							
			1	80%未満の実施		1	49%以下の評価							
学校の管理運営	経営方針に基づいた、組織的な教育活動・学校運営等を行う。	教育課程に基づいて計画・実施を適正に行う。	4	企画及び職員の開催状況 100%の実施	4	4	学校行事等の全体評価 90%以上の評価	4	学校経営方針の下、教職員一同教育活動に励んでいる。	今後も、全校統一歩調で児童の指導を行う。	A	A	適正に実施されている。	
			3	90%～99%の実施		3	70%～89%の評価							
			2	80%～89%の実施		2	51%～69%の評価							
			1	80%未満の実施		1	49%以下の評価							
	経営方針に基づいた、組織的な教育活動・学校運営等を行う。	週ごとの指導計画に基づいた教育活動を実践する。	週ごとの指導計画開催状況	4	100%の実施	4	4	指導目標の教職員評価 90%以上の評価	4	週ごとの指導計画を確認し、教育課程を円滑に実施することができた。	今後も、教育課程の適切な実施に努める。	A	A	適正に実施されている。
				3	90%～99%の実施		3	70%～89%の評価						
				2	80%～89%の実施		2	51%～69%の評価						
				1	80%未満の実施		1	49%以下の評価						
	子どもの実態に合わせた教育目標設定及び学校評価等を適切に行う。	①教職員への自己評価を実施し、改善を行う ②学校アンケートを実施し、実態把握から改善を行う。	教職員アンケート取組状況	4	100%の実施	3	4	教育目標の教職員評価 90%以上の評価	3	①自己評価を実施し、次年度計画に反映した。 ②学校アンケートをもとに次年度を待たずに改善を進めた。	今後もに実態を把握し、それを反映した教区計画を目指す。	A	A	子供自身が努力のプロセスが認められる評価の仕組みがあるとよい
				3	90%～99%の実施		3	70%～89%の評価						
				2	80%～89%の実施		2	51%～69%の評価						
				1	80%未満の実施		1	49%以下の評価						
子どもの実態に合わせた教育目標設定及び学校評価等を適切に行う。	学校アンケートを実施し、実態把握から改善を行う。	保護者等のアンケート取組状況	4	100%の実施	3	4	学校生活の児童・保護者評価 90%以上の評価	3	学校アンケートをもとに次年度を待たずに改善を進めた。	今後もに実態を把握し、それを反映した教区計画を目指す。	A	A	特になし	
			3	80%～99%の実施		3	70%～89%の評価							
			2	60%～79%の実施		2	51%～69%の評価							
			1	60%未満の実施		1	49%以下の評価							
適切な教育活動が行える教育環境・設備等を整える。	子どもにとって清潔で安全・安心の学校環境を整える。	毎日の安全点検実施状況	4	100%の実施	4	4	学校環境・整理の児童・保護者評価 90%以上の評価	3	全教室に電子黒板が配備され、ICTの活用を推進することができた。	今後も児童にとってよりよい環境となるよう改修・要望を行っていく。	A	A	特になし	
			3	90%～99%の実施		3	70%～89%の評価							
			2	80%～89%の実施		2	51%～69%の評価							
			1	80%未満の実施		1	49%以下の評価							

項目	取組目標	具体的方策	取組指標		成果指標		分析	改善方策	学校関係者評価			
				評価		評価			自己評価	改善方策	意見等	
家庭・地域連携	教育方針や日常の教育活動の様子などを工夫して分かりやすく伝える取組等を行う。	教育活動を定期的に保護者・地域等へ周知する。	4	HP及び情報メールの活用状況 100%の実施	4	4	情報伝達の保護者評価 90%以上の評価	保護者会や学校だより、HPなどを通して教育活動の周知を図った。	今後も、情報発信に努める。	A	A	ほぼ毎日のHP更新は家庭での会話にもつながり、取組目標以上のものがある。
			3	90%～99%の実施		3	70%～89%の評価					
			2	80%～89%の実施		2	51%～69%の評価					
			1	80%未満の実施		1	49%以下の評価					
	教育方針や日常の教育活動の様子などを工夫して分かりやすく伝える取組等を行う。	講演会等を開催し連携して教育課題に取り組む。	4	講演会の開催回数 5回以上の実施	3	4	講演会への参加者評価 90%以上の評価	道徳授業地区公開講座やいじめ防止教室などで講演会を実施し、保護者に教育課題に対する取組を周知した。	今後も、講演会などを実施し、保護者と共に学ぶ機会を創出していく。	A	A	特になし
			3	3回～4回の実施		3	70%～89%の評価					
			2	2回～3回の実施		2	51%～69%の評価					
			1	1回の実施		1	49%以下の評価					
	保護者や地域の理解や協力を得た教育活動を行う。	保護者・地域と連携しボランティアによる教育活動を推進する。	4	学校行事への参加率 90%以上の実施	2	4	学校行事の保護者評価 90%以上の評価	運動会などの学校行事でボランティアによる保護者の参加が見られた。	今後も保護者を巻き込んで行うことができる教育活動を模索していく。	A	A	学校だよりの行事予定にPTAの会議や行事が掲載されているのはありがたい。
			3	80%～89%の実施		3	70%～89%の評価					
			2	60%～79%の実施		2	51%～69%の評価					
			1	60%未満の実施		1	49%以下の評価					
	保護者や地域の理解や協力を得た教育活動を行う。	PTA等との共催したイベントを開催する。	4	共催イベントの取組状況 100%の実施	4	4	共催イベントの保護者評価 90%以上の評価	14町会と共催で区で唯一の取組である合同ラジオ体操を実施した。	今後も持続可能な実施方法を模索していく。	A	A	特になし
			3	90%～99%の実施		3	70%～89%の評価					
			2	80%～89%の実施		2	51%～69%の評価					
			1	80%未満の実施		1	49%以下の評価					
	地域や関係機関と連携した教育的な実践	警察・消防等との連絡、情報共有するケース会議等を開催する	4	警察等との連携状況 90%以上の実施	4	4	関係機関連携の評価 90%以上の評価	児童の健やかな成長の為に警察や関係機関とケース会議を複数回行った。	今後も学校と関係機関が協力して児童を育てていけるしくみづくりに励む	A	A	子供支援教室の開設はとてもよい。支援内容が子供によって異なるので大変さがうかがえるが、今後も継続してほしい。
			3	80%～99%の実施		3	70%～89%の評価					
			2	60%～79%の実施		2	51%～69%の評価					
			1	60%未満の実施		1	49%以下の評価					

### ○令和6年度 学校経営報告のまとめ（総括）

全ての評価項目に対して肯定的な評価をいただいた。

分かりやすい授業の実施に努めるための授業改善への取組についてお褒めの言葉をいただいた。次年度もより一層、児童の学力向上をめざし、教職員一丸となり授業改善に取り組む。その中で「書く」活動についての重要性について話題となった。次年度における授業改善の視点の一つとして考えていく。

また、今年度より開設された子供支援教室についても開設を評価していただいた。今年度明らかになった運営面での課題をふくめ、次年度の子供支援教室の在り方について検討を重ね、児童にとっての居場所の一つとなるよう取り組みを進める。

いじめ防止の取組については、今年度お褒めの言葉をいただいた道徳教育や特別活動を中心として、今後も全教育活動を通して取り組んでいく。

学校だよりやHPを通した学校からの情報発信については、今後も改善を重ねながらより保護者や地域の皆様に伝わる形での情報発信に努めていく。